



昆中通信

校訓 拓く（英知・創造・愛郷）
 自主性に富み生き生きと生活する人間
 ☆ 学力を身につけた生徒
 ☆ 意志の強固な生徒
 ☆ 体力の充実した生徒
 ☆ 思いやりのある生徒

令和8年5月25日（月）No.2

釧路町立昆布森中学校

他者とのかかわりの中で

慌ただしく過ぎた4月、各学級で今年度の目標やスローガンが提示され、係分担や専門委員会のメンバーも決まり、学級活動の基盤づくりが進みました。ゴールデンウィークは、大きな事故やけがもなく有意義な休みを過ごし、リフレッシュできたことと思います。気持ちを入れ替えて、生徒個々の目標達成に向けて、学校全体が動き始めているところです。

さて、各教科の授業は「協働的な学び」と「個別最適な学び」を一体的に進めるよう取り組んでいます。課題解決に向けて、自分の考えた方法で追究したり、生徒相互に考えを発表し合ったりして、学び方を学べる授業づくりを心がけています。一つの課題に対して、自分では考えや意見がまとまらないとき、仲間の意見を参考に考え直してみることで次のステップに進むことができます。自分の考えや意見を持つことができている場合でも、仲間の考えを聞くことで「やっぱりそうか」という安心や自信、「なるほど、そういう考え方・見方もあるのか」という視野の広がりなど、より深い考えにたどり着くことができます。

教師主導ではなく、生徒個々の考えで授業（学習）が進むことで、主体的に学習に臨もうとする意欲を育てたいという思いから、「仲間とかかわり学び合う

場の設定を大事にしています。

仲間との学び合いの基本は、「自分の考えを持つこと・伝えること」「他者の考えを聞き理解すること」「他者と自分の意見を比較すること」「自分の考えを再構築する（考え直す）こと」です。しかし、すぐにできることはありません。特に伝えることは難しいものです。だからこそ、繰り返し練習することが必要です。

この取り組みの基盤は、全校・学級集団での前向きで肯定的な雰囲気です。意見や考えを進んで発表できる雰囲気、いろいろな考えを包み込む優しい雰囲気、しっかり学ぼうとしている人が生かされる雰囲気、集団内で育てていかなければなりません。反対に、「自分が発表しなくても、誰かが発表するだろう」という人任せな雰囲気や、些細な間違いに過剰に反応したり冷やかしたりする雰囲気があれば、学校・学校全体で見直し、改善をしていく必要があります。

これから、2年生宿泊研修、3年生修学旅行、また1年生も含めた体育大会の取組もあります。学校行事は、集団での結びつきを強くするとともに良い機会です。生徒相互、生徒と教員との関わりを大切にして、個や集団としての成長を願っています。

（文責 教頭 草間千広）

6月 行事予定

日	曜	行事予定 ①=学年
1	月	☎ 朝会 昆小中合同引き渡し訓練
2	火	☎
3	水	生徒会活動
4	木	☎ 内科検診 中間テスト範囲提示
5	金	☎
6	土	
7	日	
8	月	☎
9	火	☎ 歯科検診 校長会議
10	水	③修学旅行
11	木	☎ ③修学旅行
12	金	☎ ③修学旅行
13	土	
14	日	
15	月	放課後学習・メディアコントロールデー Q-U 検査
16	火	放課後学習・メディアコントロールデー 教頭会議
17	水	放課後学習・メディアコントロールデー
18	木	前期中間テスト 職員会議
19	金	☎ 教育相談～24日 団会議
20	土	
21	日	
22	月	☎
23	火	☎
24	水	
25	木	☎ 生徒会活動
26	金	☎ 中体連壮行会
27	土	釧路地区中体連バド～29日
28	日	昆小運動会
29	月	☎ ③思春期講座
30	火	☎

棹前昆布漁期ですがぜひご参加ください

中学校のテスト前は、沿岸3校でMCD（メディアコントロールデー）に取り組みます

地域とともに
地域住民として

クリーンピカリン大作戦

5月21日(木)、少し肌寒さを感じる中、昆布森小・中主催の地域清掃、クリーンピカリン大作戦を行いました。

ももとは昆布森小学校のピカリン大作戦と昆布森中学校の昆クリ(昆布森クリーン大作戦)と別々の清掃活動でしたが、小中一緒に取り組むようになった形が現在クリーンピカリン大作戦です。

児童生徒が地域の一人として環境美化に取り組むことを通して、資源豊かな海、美しいふるさとを守る郷土愛を育てる大切な教育活動です。ご協力いただいたPTAの皆様、昆布森漁協の皆様、そして地域の皆様、ありがとうございました。次年度もよろしくお祈りします。



地域住民として
地域とともに

裏山もピカリン 植樹活動

5月18日(月)、昆布森漁協の主催により毎年恒例の植樹活動が行われました。

小学校の裏山に桜の苗木を植えることで、山を守るとともに、山の栄養を含んだ水流れこむ資源豊かな海を守ろうという取組です。小中9年間、ふるさと昆布森を守る取組を通して、ふるさとの未来を守る意識を育んでいます。



ありがとう
地域貢献

グラウンドもピカリン

5月12日(火)、今年も田中組様にグラウンド整備をしていただきました。

草やタンポポが咲き始めた春のグラウンドですが、運動に適したグラウンドになり、設計が始まっています。



5/1(金) 前期生徒総会

令和8年度前期生総会が行われました。総務からは今年度のスローガン「Stronger Together」が示されました。

文化専門委より放送や図書計画、保体よりキャンペーン活動や体力向上計画が提案され、すでに活動が始まっています。

生徒会は生徒たち自身の手による主体的な取組です。全員が主体者である活動を期待します。



R8 前期生徒会役員

- 会長 K・R
- 副会長 T・T
- 書記 N・N
- 文化委員長 S・S
- 保体委員長 T・R

5/8(火) こころの教室

SOSを出せる人になるために

釧路町の村上沙由里SCを講師に迎え、心を軽くするための授業、「こころの教室」を開催しました。

いじめアンケートを行うと、嫌な思いをしたときに、「誰にも相談しない」と回答する生徒がいます。社会生活を営む中でトラブルはありますが、その悩みをすべて自分で背負うと誰でも心が苦しくなります。我慢しているうちに、本当は何も悪くないのに「自分が悪い、自分がおかしい」と思い込んでしまうこともあります。

困ったとき、嫌だと思ったときに、NoやSOSを出せることが大事です。周りが敵ばかりに見えても、意外とSOSを受け止めて味方になってくれる人の方が多いものです。



昆布森中学校いじめ防止基本方針

～いじめゼロをめざして～

昆布森中学校では『昆布森いじめ防止基本方針』を毎年見直し、全校で「いじめゼロ」に向けて取り組んでいます。取組の基本は未然防止です。次いでいじめになりそうな芽の早期発見、いじめ発生時の早期対応・解決です。



いじめの認知も昔とは異なります。一昔前なら嫉とされた言動も、「暴力」「虐待」「〇〇ハラ」とされる時代です。また、明らかに攻撃性のある暴力・暴言、仲間外れだけがいじめではありません。たとえ悪気のない言葉や態度、表情であっても、相手に嫌な思いをさせた場合はいじめとなる世の中です。

だからこそ、ふだんから「相互に嫌な思いをしない＝居心地良い環境」を作ることが大切です。全教育活動の中で個々に活躍できる場、礼儀や挨拶など、相互に「認め合う」ことができる場を積極的に設け、よりよいコミュニケーション能力や好ましい人間関係形成力を「高め合う」環境づくりを進め、自己肯定感・自己有用感を育成します。

また、学校全体で組織的に対応するため、いじめ対策委員会を組織して「いじめ防止プログラム」を推進します。状況に応じてスクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)、外部関係機関の協力を得て、サポート体制も整えています。誰にも言えない時には匿名でも利用できる相談窓口もありますので、ぜひスマホなどにブックマークしておいてください。昆布森中学校は、人権を侵害するいじめ行為は断固許しません。



相談窓口一覧



『いじめ防止基本方針』もHPから

昆布森中学校の最新の情報やおたよりはこちらから。ブックマークをお願いします。

<https://konbumorijh.kushirocho.ed.jp/>

